

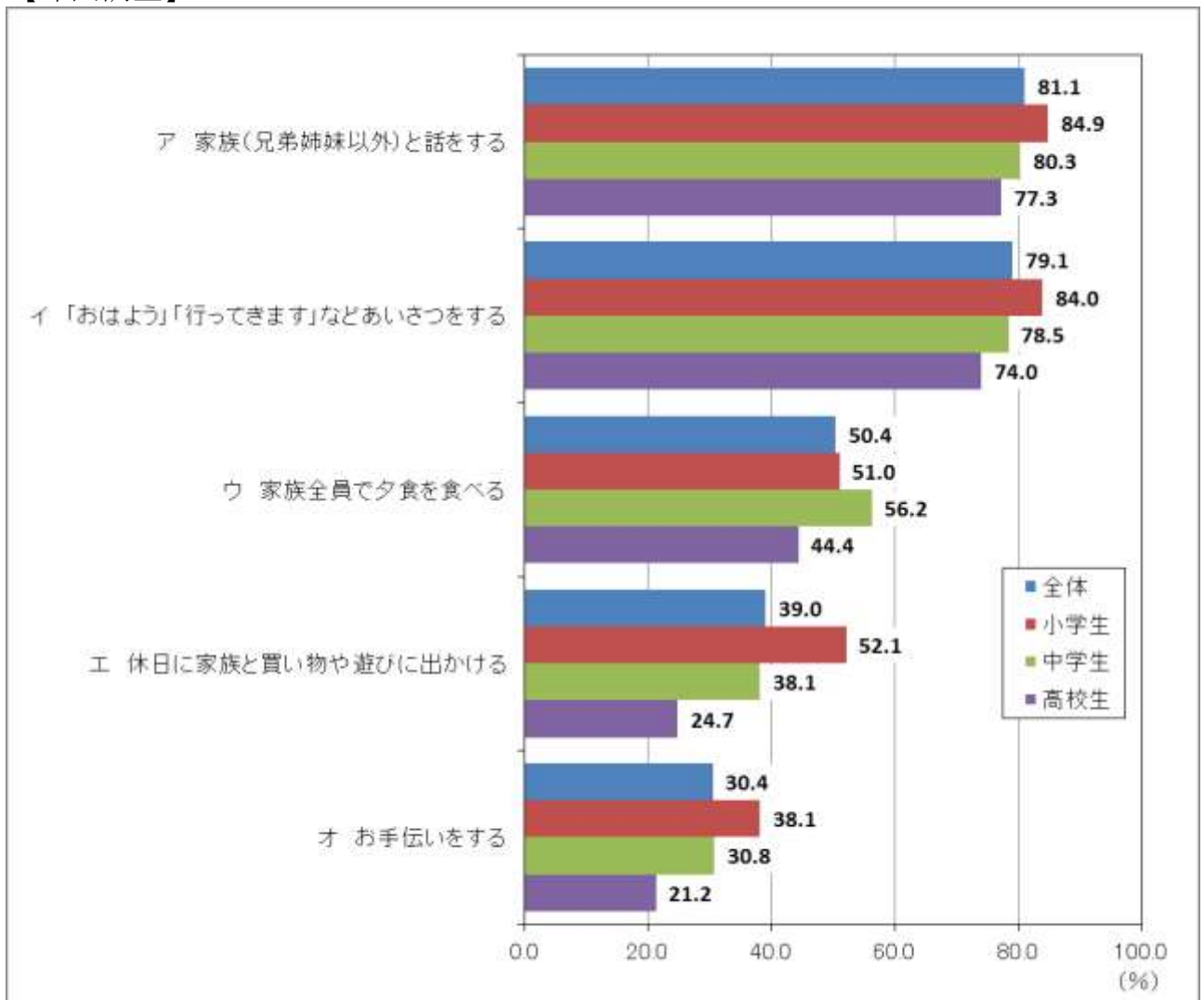
Ⅱ 青少年と家庭生活

1 青少年を取り巻く家庭環境（小中高生）

(1) 家庭生活の様子：（質問）あなたの家庭生活(生活の場)についておたずねします。あなたはアからカまでのことをどれぐらいしていますか。

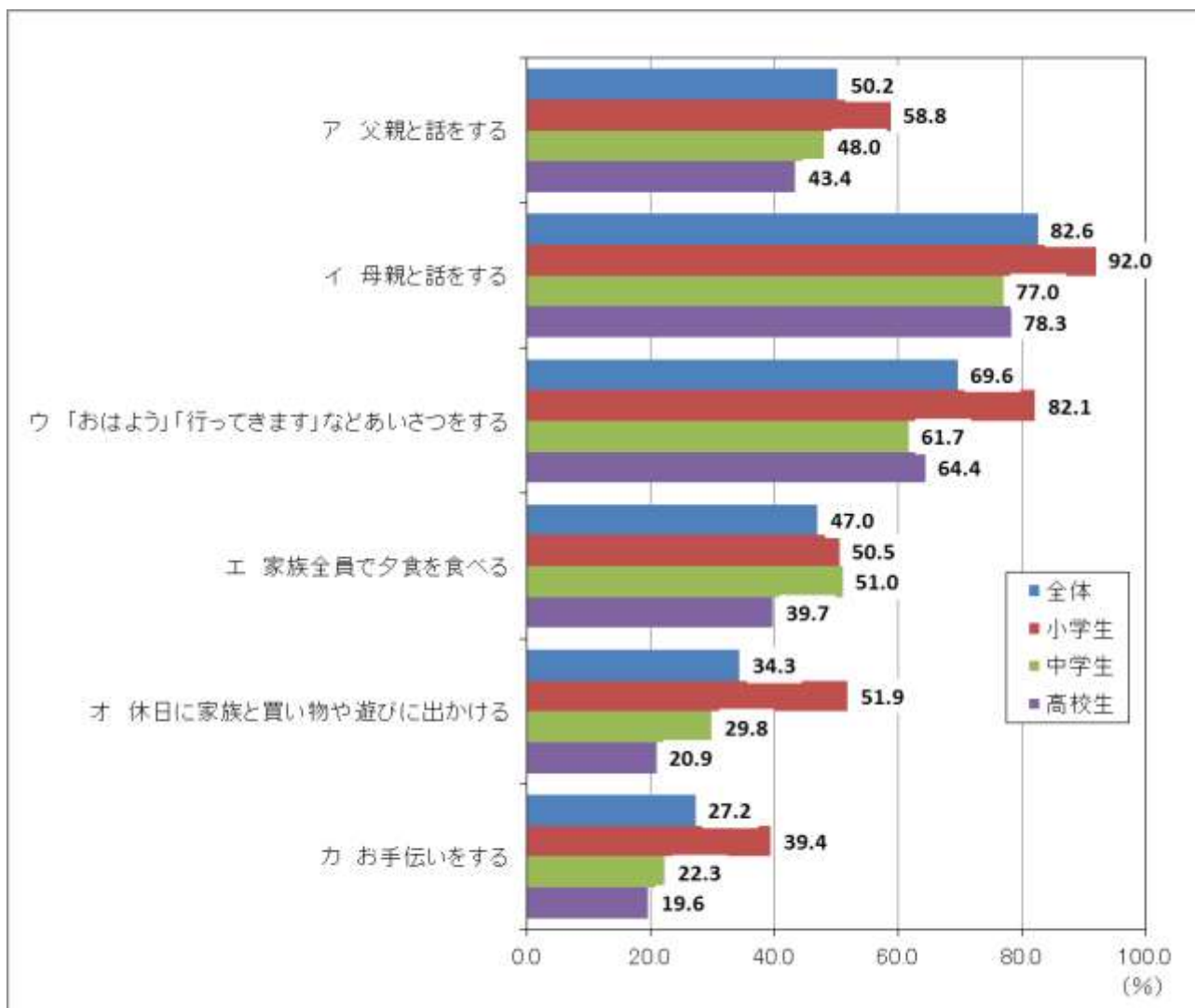
- ・「よくある」と答えた割合で調査結果をみていくと、小中高生全体では、「ア 家族（兄弟姉妹以外）と話をする」（81.1%）と答えた割合が、ア～オの項目の中で一番高く、次いで、「イ「おはよう」「行ってきます」などあいさつをする」（79.1%）、「ウ 家族全員で夕食を食べる」（50.4%）、「エ 休日に家族と買い物や遊びに出かける」（39.0%）、「オ お手伝いをする」（30.4%）の順になっている。
- ・「ウ 家族全員で夕食を食べる」は中学生で割合が高く、それ以外の項目は小学生で高くなっており、年代が上がるにつれ低くなる傾向がある。
- ・設問が同じイ～オについて、前回調査と比較して割合が高くなっている。

【今回調査】



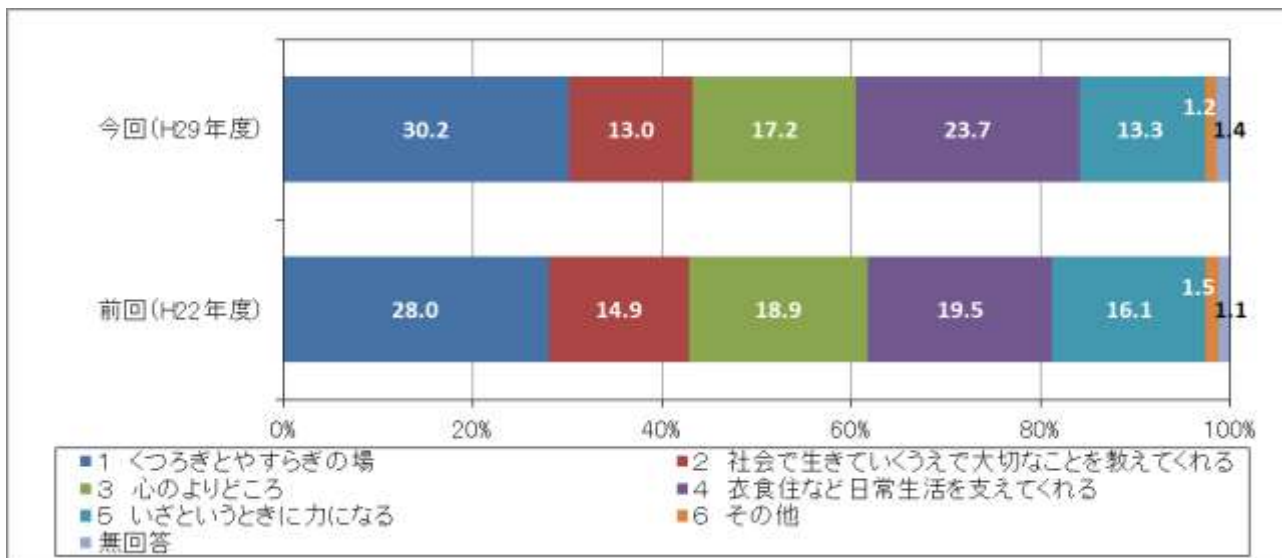
- ア 家族（兄弟姉妹以外）と話をする
 ・小学生(84.9%)、中学生(80.3%)、高校生(77.3%)となっている。
 ・家族と話をすることが、「めったにない」、「あまりない」は、全体で、4.8%となっている。
- イ 「おはよう」、「行ってきます」などあいさつをする
 ・小学生(82.1%→84%)、中学生(61.7%→78.5%)、高校生(64.4%→74%)となっており、前回調査と比較して中学生、高校生の割合が高くなっている。
- ウ 家族全員で夕食を食べる
 ・小学生(50.5%→51%)、中学生(51%→56.2%)、高校(39.7%→44.4%)となっており、前回調査と比較して中学生、高校生の割合が高くなっているが、高校生は5割に満たない。
- エ 休日に家族と買い物や遊びに出かける
 ・小学生(51.9%→52.1%)、中学生(29.8%→38.1%)、高校生(20.9%→24.7%)と年代が上がるにつれ低くなり、ア～オの項目の中では年代ごとの差が一番大きくなっている。
- オ お手伝いをする
 ・小学生(39.4%→38.1%)、中学生(22.3%→30.8%)、高校生(19.6%→21.2%)となっており、中学生の割合が高くなっている。

【前回（H22）調査】

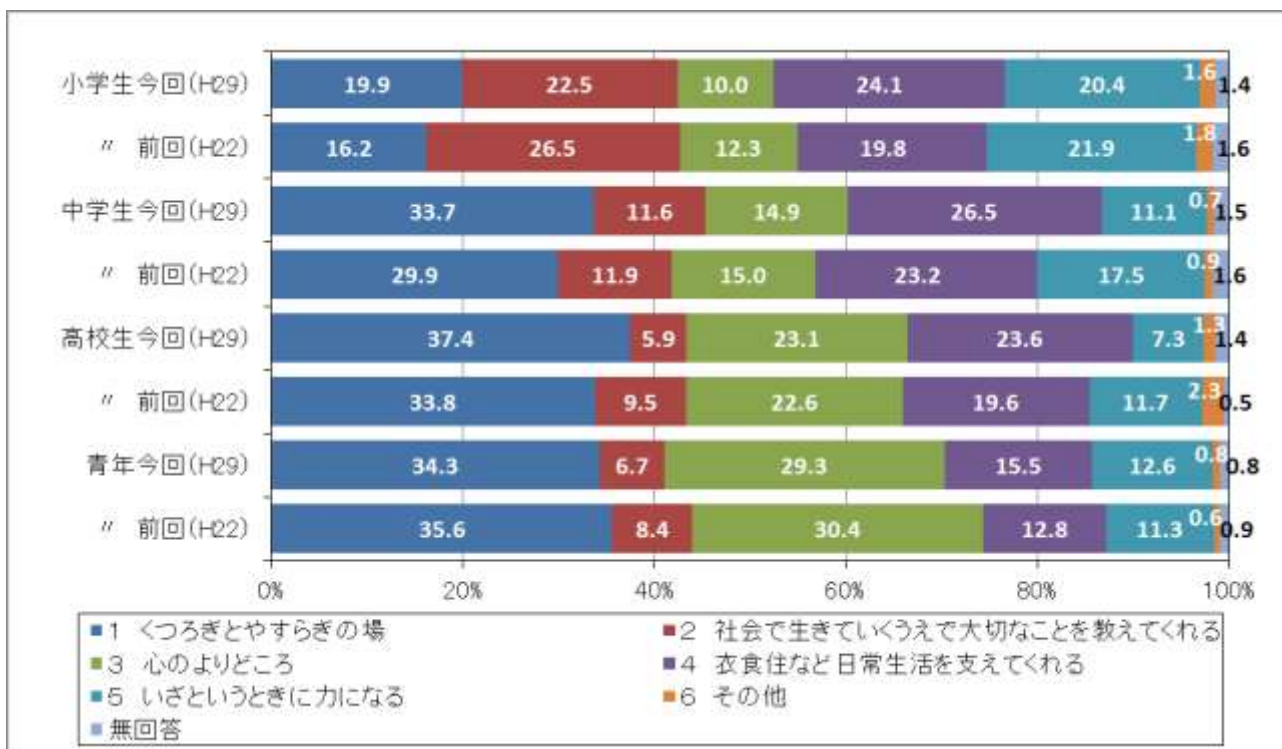


(2) 家族の機能：（質問）あなたは、家族や家庭は何が大事だと思いますか。

- ・ 家族や家庭に大事なものとして「1 くつろぎとやすらぎの場」(30.2%)と答えた割合が一番高く、次いで「4 衣食住など日常生活を支えてくれる」(23.7%)、「3 心のよりどころ」(17.2%)、「5 いざというときに力になる」(13.3%)、「2 社会で生きていくうえで大切なことを教えてくれる」(13.0%)となっている。

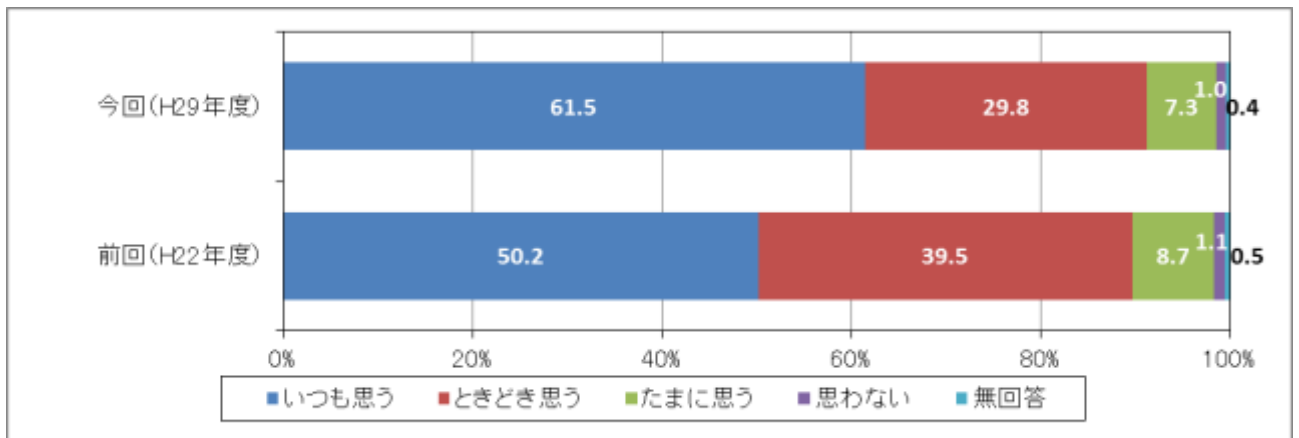


- ・ 年代別では、小学生では「4 衣食住など日常生活を支えてくれる」(24.1%)が一番高くなっている。（前回調査は「2 社会で生きていく上で大切なことを教えてくれる」(26.5%)の割合が一番高い。）
- ・ 中学生以上では、前回調査と同様、「1 くつろぎとやすらぎの場」が一番高くなっている(中学生 33.7%、高校生 37.4%、青年 34.3%)。
- ・ 次いで高いのは、小学生では「2 社会で生きていく上で大切なことを教えてくれる」(22.5%)、中学生、高校生では「4 衣食住など日常生活を支えてくれる」(中学生 26.5%、高校生 23.6%)、青年では「3 心のよりどころ」(29.3%)となっている。

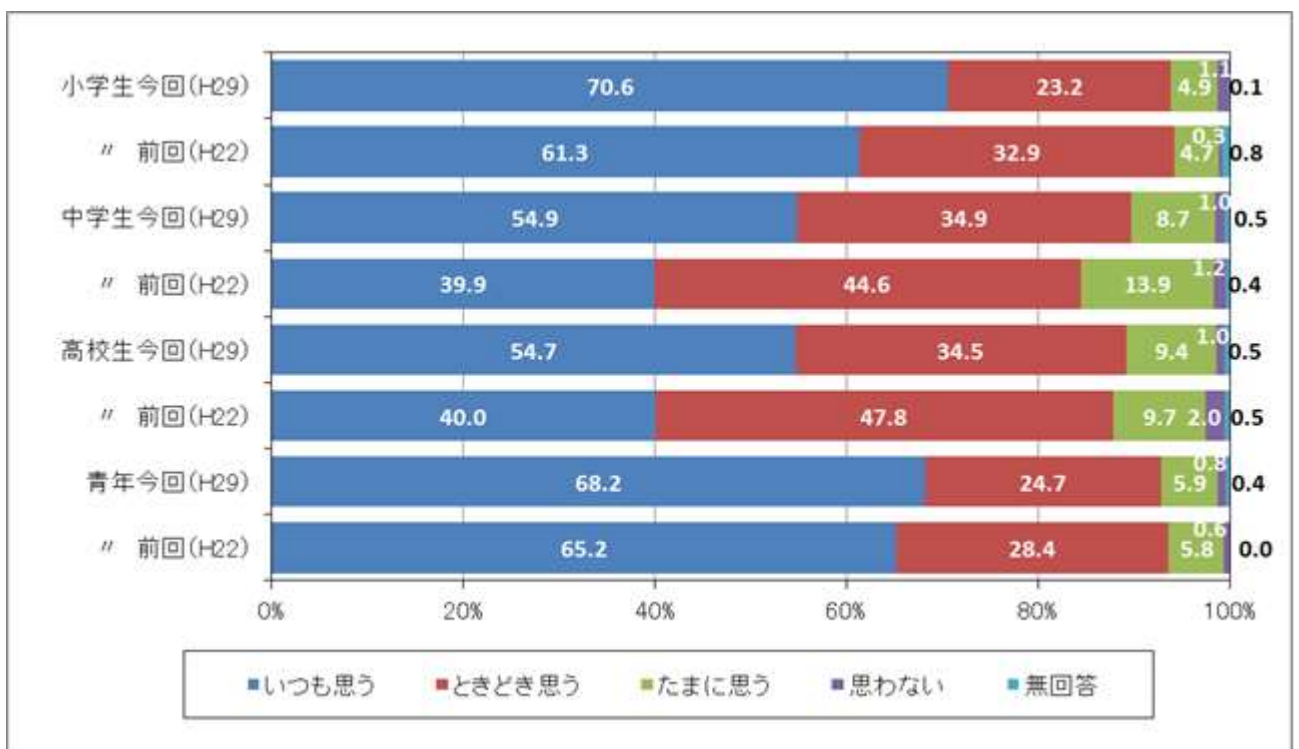


2 家族への感謝意識：（質問）あなたは、親や家族をありがたいと思うことがありますか。

- 親や家族がありがたいと「いつも思う」、「ときどき思う」と答えた割合は、9割を超えている。



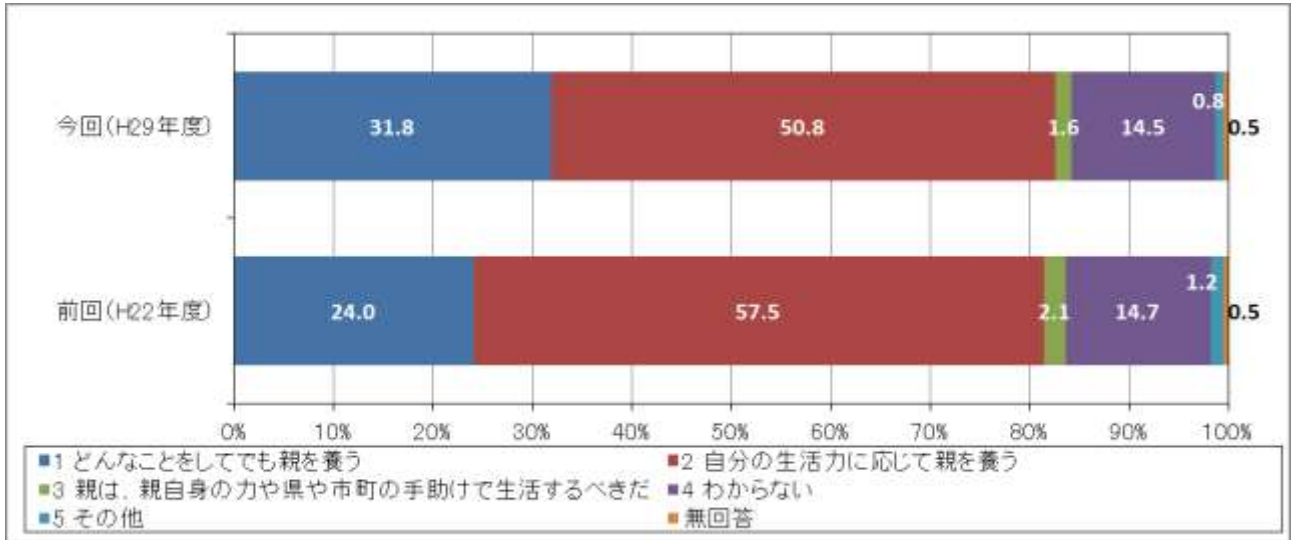
- 年代別では、「いつも思う」、「ときどき思う」と答えた割合は、小学生(93.8%)、青年(92.9%)、中学生(89.8%)、高校生(89.2%)の順になっている。
- 前回調査と比較すると、「いつも思う」と答えた割合は、全ての年代で増加している。（小学生 61.3%→70.6%、中学生 39.9%→54.9%、高校生 40.0%→54.7%、青年 65.2%→68.2%）



3 親の扶養観

(1) 老親の扶養観：（質問）親が年をとった場合に親を養うことについて、あなたの考えに一番近いものを1つあげてください。

- 親が年をとった場合に親を養うことについて、「2 自分の生活力に応じて養う」と答えた割合が一番高く（50.8%）、次いで「1 どんなことをしてでも親を養う」が31.8%となっており、「3 親自身の力や県や市町の手助けで生活するべきだ」は1.6%と低い。



- 各年代とも「2 自分の生活力に応じて養う」と答えた割合が一番高く、小学生(41.8%)、中学生(48.2%)、高校生(56.4%)、青年(69.5%)となっている。
- 年代が上がるにつれ、「1 どんなことをしてでも養う」と答えた割合は低くなり(小学生40.9%、中学生32.6%、高校生26%、青年17.6%)、「2 自分の生活力に応じて養う」の割合が高くなる。

